I-O DATA

M-MANU2017734-01
B-MANU2024889-01

取　扱　説　明　書

4K対応55型ワイド液晶ディスプレイ LCD-M4K551XDB

HDMI

この度は弊社製液晶ディスプレイをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

■VCCI規格について

この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。
VCCI-B

ご注意：二人以上で用意・設置する

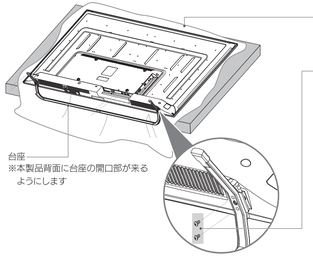
一人での用意・設置は、けが・本製品の故障の原因になります。

添付品を確認する

- □ 台座
- □ HDMI ケーブル
- □ 電源コード
- □ 台座取付用ネジ（4 本）
  ※ ネジに合ったドライバーをご用意ください。
- □ DisplayPort ケーブル
- □ シール（2 枚：いたずら防止のため、本体のボタンの印字を隠せます）
- □ リモコン・動作確認用電池
- ☑ 取扱説明書（本書）
- □ 必ずお読みください

•電池をセットする際は、リモコンの裏ブタを開け、**単4形乾電池を2本**入れます。
•添付の電池は動作確認用です。早めに新しい乾電池に交換してください。

台座を取り付ける

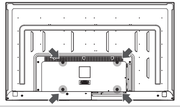


平らなところに柔らかい布などを敷く

各２つ×2か所、計4つの穴をネジ留めする
※ネジの穴が合わない場合、台座の向きが異なります。
本製品背面に台座の開口部が来るようにしてください。

モニターアーム（VESA）に取り付ける

●固定用ネジ：M6×10mm
（モニターアームの金具の厚みにより異なる）
●本製品質量：約14.2Kg(台座除く)
●ネジピッチ：400×200mm
●締付けトルク：90～110N·cm（9～11kgf·cm）

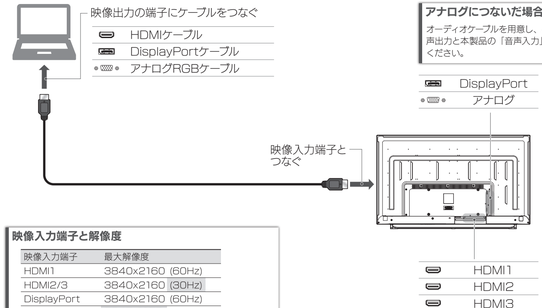


取り付け時のご注意

液晶パネルが故障または破損する原因になります。
●本製品を床などに落とさない　●パネルを傷つけない
●ディスプレイ部（表示面）を手で強く押さえない

つなぐ

1 パソコンや映像機器とつなぐ



※ 動きが速いゲームや映像を扱う場合、HDMI1 につないでください。

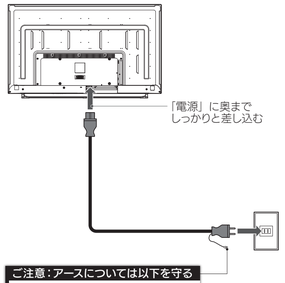
アナログにつないだ場合

オーディオケーブルを用意し、パソコンの音声出力と本製品の「音声入力」をつないでください。

映像入力端子と解像度

映像入力端子	最大解像度
HDMI1	3840x2160（60Hz）
HDMI2/3	3840x2160（30Hz）
DisplayPort	3840x2160（60Hz）
アナログ	2048x1152（60Hz）

2 電源コンセントとつなぐ

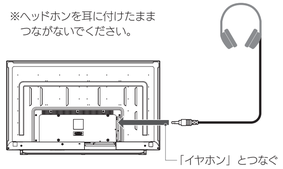


ご注意：アースについては以下をする

●必ずアースをつないでから、電源プラグをコンセントにつなぐ
●電源プラグを抜いてから、アースを外す
守らないと、発火・感電の原因になります。

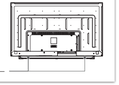
3 必要なら、ヘッドホンをつなぐ

※ヘッドホンを耳に付けたままつながないでください。



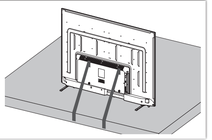
スピーカーの位置

本製品には、スピーカーが搭載されています。
スピーカーの位置は図の通りです。



転倒対策をおすすめします

本製品は、大きな地震などの際には倒れる危険があります。
本製品転倒の際に大けがをするおそれがありますので、市販のテレビ用転倒防止グッズなどで転倒対策をされることをおすすめします。

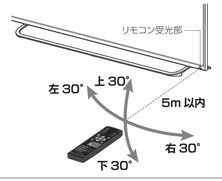


使う

本製品は、添付のリモコンを使って操作します。

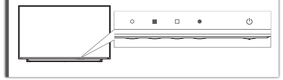
リモコンの操作範囲

リモコンの受光部は電源ランプのところにあります。
リモコンを受光部に向けて操作してください。



本体のボタンで操作する

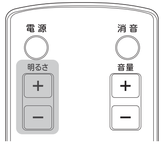
各マークの下にあるボタンを押して操作してください。
設定をする場合は、○ ■ □ ● のボタンを押して画面の説明をご覧ください。



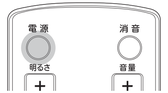
本体ボタンでのメニュー操作を無効化する（メニューロック）

本体の ■ ボタンを 3 秒間押し続けます。
解除も同様の操作でできます。

画面の明るさ（輝度）を調節する



電源を入れる／切る

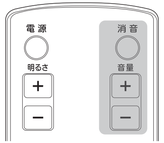


電源ランプについて

青点灯	電源入
オレンジ点灯	節電状態
消灯※	電源切

※ 設定によっては、電源入や節電状態でも消灯するようにできます。

音量を調節する



映像をくっきりと表示する（超解像）

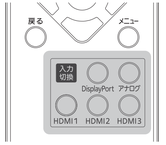
超解像

映像の解像感を高め、映像の輪郭をくっきりと表示する機能です。
解像度の低い動画を見るときなどに、映像のボケを低減します。

デモ（デモモード）

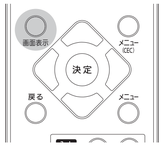
画面右側だけに超解像処理した映像を表示し、超解像の効果を確認できるモードです。

表示する映像を切り換える（入力切換）



※ 子画面の映像は、「子画面」枠の［入力切換］で切り換えます。

映像の情報を表示する／閉じる



ブルーライトを低減する

ブルーリダクション

パソコンで作業をする際に目が疲れる原因とされるブルーライトを低減させる機能です。
効果を強くするほど、画面は黄色く見えます。

裏面に続く ▶

使う（つづき）

子画面を使う

通常の画面（親画面）とは別で、他の入力の映像を「子画面」として表示できます。

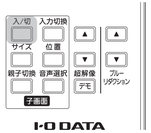
PiPとPbP

PiP
親画面内に子画面を表示します。

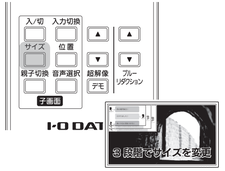
PbP
親画面と子画面を並べて表示します。
※［サイズ］［位置］は機能しません。

子画面を表示する

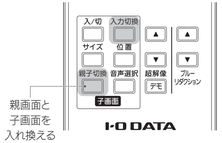
子画面の状態を切り換えます。
PiP→PbP→切→PiP－…



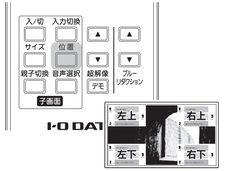
子画面のサイズを変更する（3段階）



子画面の映像を切り換える

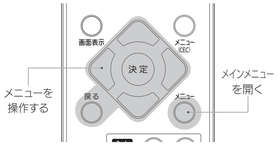


子画面の位置を変更する（4か所）



音声を切り換える（親画面⇔子画面）

詳細な設定をする（メニューを開く）



詳しくは『画面で見るマニュアル』をご覧ください
http://www.iodata.jp/p/162497
※別モデルのページでも、掲載内容は共通です。

HDMI機器をリモコンで操作する

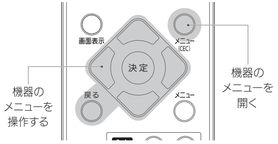
HDMI ケーブルでつないだ機器を、本製品のリモコンで操作することができます（CEC 機能）。

CEC機能を有効にする

メインメニューを開き、［HDMI］→［CEC］を［入］に設定してください。
HDMI 機器を本製品のリモコンで操作できるようになります。

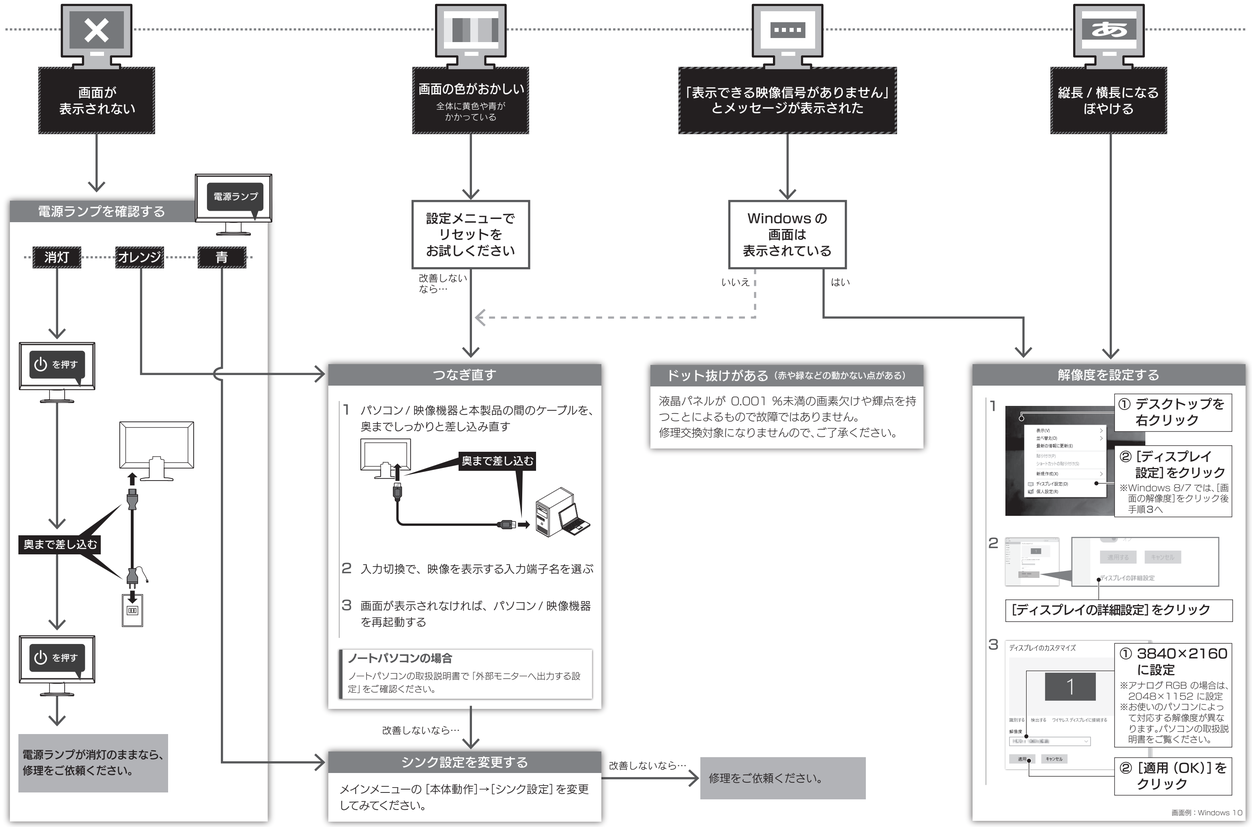
HDMI機器を操作する

メインメニューを開き、［HDMI］→［CEC］を［入］に設定してください。



HDMI機器を操作できない
- HDMI 機器のCEC機能を有効にしてください。
- 機器が CEC 機能に対応しているかご確認ください。
- HDMI 機器によっては、一部またはすべての操作ができないことがあります。動作は保証の対象ではありません。

困ったときには



Windows でアイコンや文字を拡大したい

『画面で見るマニュアル』の【困ったときには】をご覧ください。
http://www.iodata.jp/p/162497

音が出ない

- DisplayPort や HDMI でつないでいる場合
  Windows
  ① 通知領域のスピーカーアイコンを右クリック
  ② ［再生デバイス］をクリック
  ③ 本製品を選び、［規定値に設定］をクリック
  macOS
  ① システム環境設定の［サウンド］をクリック
  ② ［出力］タブをクリック
  ③ 本製品を選ぶ
- アナログ RGB でつないでいる場合
  パソコンとオーディオケーブルでつないでください。
- 機器側の音量を確認してください。
- 本製品の音量を確認してください。
- ヘッドホンをつないでいませんか？

残像が出る

- HDMI ケーブルは、60Hz 表示に対応している HDMI 1 につないでください。
- HDMIの場合、メインメニューの［HDMI］→［HDMI1 EDID］を選び、［2.0］に設定してください。
- DisplayPort の場合、メインメニューの［DisplayPort］→［DP バージョン］を選び、［1.2］に設定してください。
- メインメニューの［表示］→［オーバードライブ］を有効に設定してみてください。
- つないだ機器が 60Hz の表示に対応しているかご確認ください。

画面が正しく表示されない

- HDMIの場合、メインメニューの［HDMI］→［HDMI1 EDID］を選び、［1.4］に設定してください。
- DisplayPort の場合、メインメニューの［DisplayPort］→［DP バージョン］を選び、［1.1］に設定してください。

※設定変更することで 4K 表示時は 30Hz（30p）に制限されます。60Hz 表示が必要な映像では残像が発生する場合があります。

■高調波電流規格について
高調波電流規格
JIS C 61000-3-2 適合品

【マニュアルアンケートはこちら】
よりよいマニュアル作りのためアンケートにご協力願います。

【商標について】
●記載されている会社名、製品名等は一般に各社の商標または登録商標です。
●HDMI、HDMI のロゴ、High-Definition Multimedia Interface は HDMI Licensing Administrator, Inc. の商標または登録商標です。